

## 新高松空港史



香川県では、瀬戸大橋、四国横断自動車道の整備促進と並び、新空港の早期開港を本県の重点課題として位置づけ、新高松空港整備推進協議会が設立されたのは昭和 47 年のことでした。

県民挙げての早期開港に向けての粘り強い運動が実を結び、昭和 60 年 10 月、高松市の中心部から南へ約 15 キロメートルの香川県のほぼ中心部に位置する香南台地において、待望の起工式を挙行し、そして、平成元年 12 月、2,500 メートルの滑走路を有する中四国随一の規模を誇るジェット化空港が開港しました。

本誌は、新高松空港建設の歴史を顧み、その意義を広く理解していただきますとともに、史料を永く後世に伝えるために刊行しました。

(平成 4 年 3 月 香川県)

(7100530661)